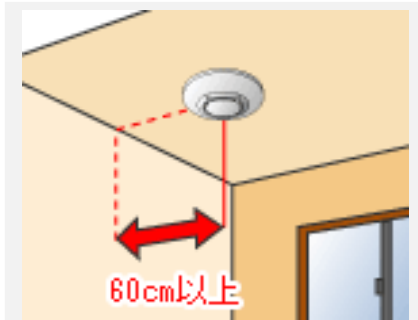


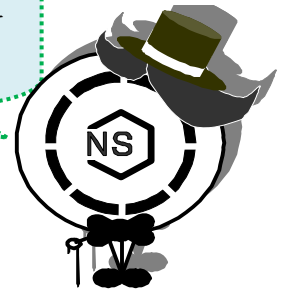
住宅用火災警報器の取り付け位置

壁や天井、はりの角には煙が貯留して誤作動を起こすことがあります。
また、エアコンや換気扇の吹き出し口の近くは、煙が流され感知が遅れたり、温風等により誤作動を起こしたりすることがありますので、下記の基準に従って設置してください。

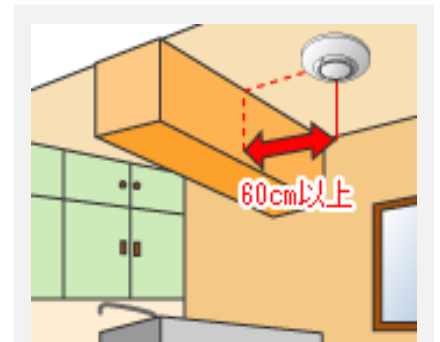
天井に取り付ける場合



警報器の中心を壁から60センチメートル以上離して取り付けてください。



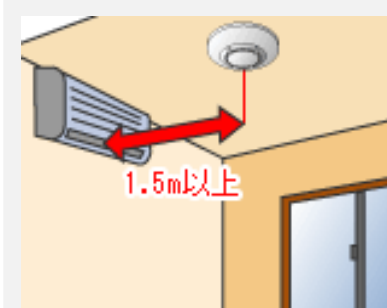
はり等が近くにある場合



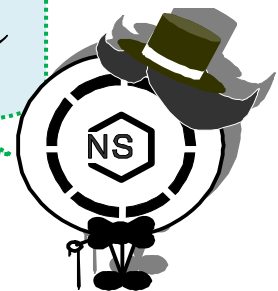
警報器の中心をはりから60センチメートル以上離して取り付けてください。



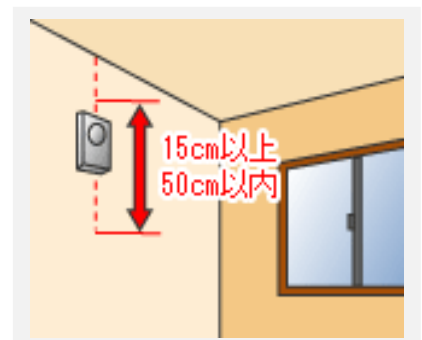
エアコン等が近くにある場合



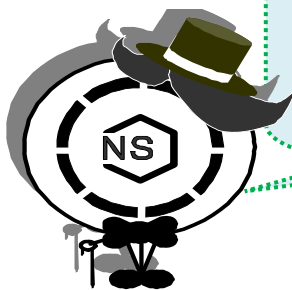
エアコンなどの空気吹き出し口から警報器の中心まで1.5メートル以上離して取り付けてください。



壁面に取り付ける場合



天井から警報器の中心まで15センチメートルから50センチメートルまでの範囲に取り付けてください。





注意

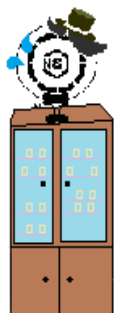
次のような場所に取り付けると、火災を正常に感知しなかったり、誤作動を
起こしたりする場合がありますのでご注意ください。



浴室内や水のかかる場所、水滴のつくところ



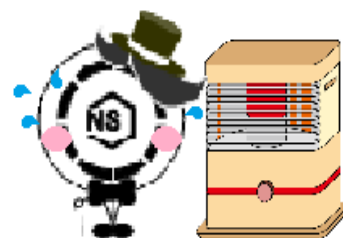
車庫など煙が大量に発生するところ



タンスなど背の高い家具の上



鍋や加湿器などの蒸気が直接かかる場所



ストーブなどの真上や近く